

地域医療支援会議における医師の派遣基本方針

《派遣対象医師》

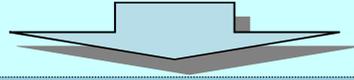
原則、義務年限内の自治医科大学卒業医師（内科系総合医）

《派遣対象医療機関（臨床研修指定病院を除く）》

上記医師を概ね次の優先順位で派遣する。

- I. ○過疎地域に所在する公的診療所
 - 過疎地域に所在する、次のいずれかの公的病院
 - ・離島に所在する病院
 - ・小規模（100床未満）な病院
- II. 過疎地域に所在する上記 I 以外の公的病院又は地域医療拠点病院
- III. 上記 I 以外の公的診療所で、当該公的診療所がなければ無医地区又は無医地区に準じる地区となる場合

※地域医療拠点病院は、ブロック制の実施や巡回診療など地域医療支援に直接的に関与している病院に限る。



地域医療拠点病院の活動を重視し、原則地域医療拠点病院に一括派遣し、ブロック制や巡回診療など医療連携を強化することにより公的診療所を支援

派遣先医療機関の概ねの優先順位

※臨床研修指定病院を除く

- I.
 - 過疎地域に所在する公的診療所
3 9 診療所
 - 過疎地域に所在する、次のいずれかの公的病院
 - ・離島に所在する病院
 - ・小規模（100床未満）な病院
- II. 過疎地域に所在する上記 I 以外の公的病院又は地域医療拠点病院
 [公的病院] 安来市立病院、雲南市立病院、済生会江津総合病院
 [拠点病院] 安来第一病院、平成記念病院、加藤病院、西部島根医療福祉センター、益田医師会病院
- III. 上記 I 以外の公的診療所で、当該公的診療所がなければ無医地区又は無医地区に準じる地区となる場合

※地域医療拠点病院は、ブロック制の実施や巡回診療など地域医療支援に直接的に関与している病院に限る。

内科系
総合医

（義務年限内の自治医科大学卒業医師）
※毎年12名程度
内科系総合医

令和8年度 義務年限内自治医科大学卒業医師の派遣計画(案)

	医療機関名 (病床数はR7.10.1現在)	令和7年度		令和8年度		差引 b-a	
		要望 ①	派遣数 a	要望 ②	派遣数 b		
1	安来市立病院 (148床)	1	0	1	0	0	
2	安来第一病院 (330床)	2	0	2	0	0	
3	平成記念病院 (115床)	1	0	-	0	0	
4	町立奥出雲病院 (98床)	○	3	2	4	2	0
5	飯南町立飯南病院 (48床)	○	2	1	2	1	0
6	社会医療法人仁寿会 加藤病院 (81床)		1	0	1	0	0
7	公立邑智病院 (98床)	○	3	2	3	3	1
8	島根県済生会江津総合病院 (172床)		2	0	2	0	0
9	西部島根医療福祉センター (112床)		1	0	1	0	0
10	浜田市国民健康保険診療所連合体	○	1	1	1	0	▲ 1
11	益田地域医療センター医師会病院 (253床)		3	0	3	0	0
12	津和野共存病院 (49床)	○	3	2	3	2	0
13	よしか病院 (50床)	○	2	1	2	1	0
14	隠岐広域連合立 隠岐病院 (115床)	○	5	5	5	4	▲ 1
15	隠岐広域連合立 隠岐島前病院 (44床)	○	2	2	3	3	1
16	国民健康保険 海士診療所	○	1	0	1	0	0
	合計		33	16	34	16	0

※ ○印は、派遣対象医療機関の優先順位 1 位

義務年限内自治医科大学卒業医師の研修・派遣状況

医療機関名	R3	R4	R5	R6	R7
町立奥出雲病院	1	1	2	2	2
飯南町立飯南病院	2	2	1	1	1
公立邑智病院	1	2	2	2	2
浜田市国民健康保険 診療所連合体	-	1	1	1	1
津和野共存病院	1	2	3	2	2
よしか病院	-	-	-	1	1
隠岐広域連合立 隠岐病院	4	4	4	5	5
隠岐広域連合立 隠岐島前病院	1	1	1	1	2
国民健康保険 知夫村診療所	1	1	-	-	-
地域勤務 (A)	11	14	14	15	16

	R3	R4	R5	R6	R7
地域勤務 (A)	11	14	14	15	16
初期研修	5	5	5	5	6
後期研修	7	4	5	4	2
不足診療科 ※	1	-	-	-	-
産休・育休	(2)	-	1	-	(2)
義務内総数	24	23	25	24	24

・ () は再掲 ・ (※) R3まで存続

島根県自治医科大学義務年限内医師の今後の動向

医療機関名	R7	R8	R9	R10	R11
地域勤務	16	16			
初期研修	6	4	4	7	7
後期研修	2	7			
特定診療科	-				
産休・育休	(2)				
義務内総数	24	27	27	27	28

・ 令和7年度以降は、卒業等が予定どおりであることを想定したもの